



ふるさとガイドおおぶ

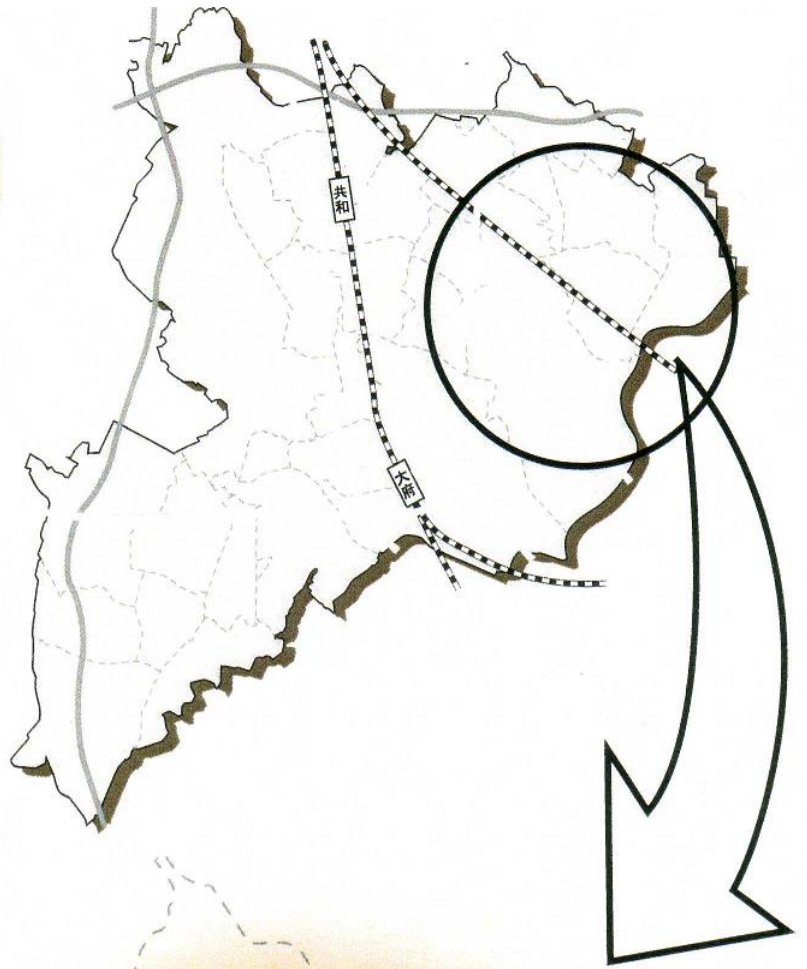
# 神田

D  
コース



# 大 府 市 地 図

- ① 藤井神社
- ② 明神樋門
- ③ 普門寺
- ④ 極楽寺
- ⑤ 賢聖院
- ⑥ 山之神社
- ⑦ 五箇村川と改修之碑
- ⑧ 神明社
- ⑨ 光善寺
- ⑩ 早川ふどう園
- ⑪ ニツ池公園
- ⑫ 至学館大学
- ⑬ 大府みどり公園



## モデルコース

【A】③ 普門寺 → ② 明神樋門 → ① 藤井神社 → 近隣名所

【B】⑩ 早川ふどう園 → ⑪ ニツ池公園 → ⑫ 至学館大学  
→ 近隣名所

【C】⑦ 五箇村川 → ⑤ 賢聖院 → ⑥ 山之神社 → 近隣名所

【D】⑦ 五箇村川 → ⑧ 神明社 → ⑨ 光善寺 → 近隣名所

【E】⑬ 大府みどり公園



# ご か せん がわ かい しゅう の ひ 五箇村川と改修之碑



▲五箇村川と樋門



▲五箇村川改修之碑

東阿野・大脇(豊明市)から、近崎・北尾・横根・大府を通り、石ヶ瀬より境川に入る排水路である。五ヶ村川の流域一帯はかつて衣ヶ浦の入江であったが、上流や左右の高所より運ばれた土砂でやがて壁地となり新田が開発された。

延宝5年(1677)境川の川底が高くなり、雨降りには新田だけでなく本田までも稲が水につかるようになった。北尾・近崎・横根・大脇・東阿野の諸村は、境川に沿って人工的に悪水を流す悪水路(排水路)の開削を始めた。大府市域ではそれに伴い境川に流れ落ちる大坪(今はない)・皆瀬・明神・砂川の諸河川の下に樋門を築く難工事であった。川流域には、当初七か所の樋門があり、現在では4ヶ所(皆瀬・明神・砂川・石ヶ瀬)となっている。

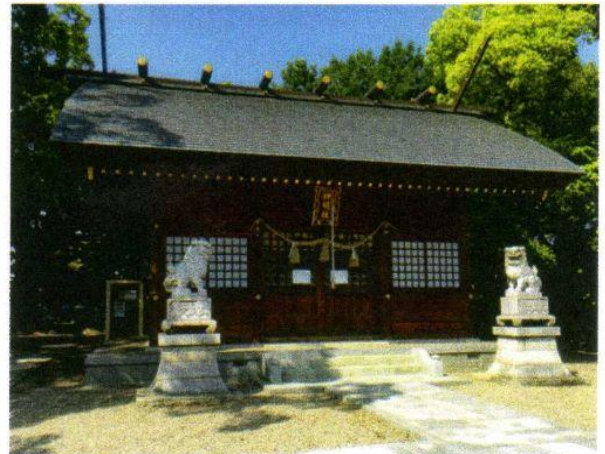
明治26年(1893)7月に五箇村川改修之碑が建碑された。

※浜島弥寿七氏の貢献による。



# 神明社

しんめいしゃ



▲神明社本殿

祭神は、天照皇大神を祀る。

境内社 山ノ神社・水の神・県社・祖霊社（祭神英霊）

創建は不詳であるが、『寛文覚書』には、「一、社式ヶ所内」と神明の社名がみえる。享保12年（1727）寛保3年（1743）の棟札には、同町万秀山光善寺祖淳代の寺名がみえ、一時期光善寺の支配下におかれていたと考えられる。明治5年（1872）村社に列し、明治40年（1907）10月26日神饌幣帛共進社（いずれも旧社格）に指定された。本殿は神明造りで、明治43年（1910）9月の改築である。拝殿に三六歌仙の俳額を掲げ、境内の手水鉢は文政10年（1827）3月の寄進である。

神事として、左義長祭・祇園祭・おんか送りなどの行事を今も伝承している。



# 光善寺

こうぜんじ



▲本堂



▲御本尊

御本尊 釈迦如来  
曹洞宗 山号 万秀山  
大府七福神(弁財天)

当寺に所蔵する「延命地藏大菩薩略縁起」には、永禄年間(1558～1570)の草創で、その後尾張藩主3代の徳川綱誠の室新姫が、母の千代姫の菩提冥福を祈るため再興したとある。開山に快翁竜喜を迎えたが、明和5年(1768)火災にあって、全山を焼失した。

平成21年(2009)に450周年を迎えた。